

大麦の播種は9月下旬から始まり、10月10日頃が盛期となりました。播種時期に好天が続き、出芽・苗立ちは良好で、初期生育は概ね順調です。

今後は、排水溝の再確認と手直しを徹底するとともに、分施肥体系の場合は年内生育量を確保するための追肥を遅れないように施用しましょう。

1. 排水対策の再確認

- 排水溝が排水口まで連結されているかを再度確認し、ほ場内に水が溜まらないように随時手直ししましょう。
- 降雨後に停滞水が残るようであれば、溝を深く掘り下げたり、新たな溝を掘るなどして、早急にほ場外へ排水しましょう。



2. 年内追肥(分施肥体系)

越冬前に適正な生育量を確保するため、播種後1ヶ月頃の追肥を遅れずに施用しましょう。

施肥時期	肥料名	施用量(10aあたり)
播種後1ヶ月頃	硫安	20kg

※LP大麦48号を施用している場合は必要ありません。

※以下の場合には営農センターへご相談下さい

- LP大麦48号が規定量入らず、莖数が不足し、葉色が薄い場合
- 分施肥体系で12月上旬に莖数が不足し葉色が薄い場合